

## 第 5 章 成果指標 |

# 第5章 成果指標

## 1. 成果指標

都市交通マスタープランに記載している指標（期待される効果）が、20年後を見据えた骨格となる施策の評価になっているのに対し、都市交通マスタープランが示す将来像の中間年までに取り組む施策の評価を行う総合交通戦略では、きめ細かく効果確認を行うため、次の指標を用いることにしました。

なお、「平成28年熊本地震」の経験を踏まえ、都市交通に関する平常時の視点に、防災の視点も加えて評価します。

### ■総合交通戦略の評価に用いる成果指標

戦略目標		視点	No	区分	指標名	
公共交通	持続可能で利便性が高く、災害時に早期に復旧する公共交通ネットワークの形成	平常時の視点	1	公共交通	公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率	
			2	公共交通	公共交通機関の年間利用者数	
3	公共交通		日常的に公共交通機関を利用する住民の割合			
4	道路		渋滞時における自動車の平均旅行速度			
5	道路		インターチェンジの日平均出入交通量			
6	まちなか交通		中心市街地の通行量			
7	まちなか交通		自転車駐輪場における日当たり平均利用台数			
8	公共交通 まちなか交通		JR熊本駅の乗降客数			
9	公共交通 道路 まちなか交通		都市機能が充実して安全・快適と感じる住民の割合			
10	公共交通 道路 まちなか交通		死傷事故件数			
まちなか交通	高次都市機能を有する中心市街地等の拠点性・アクセス性及び防災性の向上	防災の視点	11	公共交通	公共交通事業者によるBCPの策定又は既存BCPの強化の数	
			12	道路	九州主要都市間ダブルネットワーク確保 ・放射、環状道路の整備延長	
			13	道路	緊急輸送道路の防災機能の強化	・無電柱化延長
			14			・橋梁耐震化数
			15	公共交通 まちなか交通	広域交通拠点の防災機能の強化箇所数	

■ 成果指標の目標値

視点	NO	区分	指標名	2015年 H27	2025年
平常時の視点	1	公共交通	公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率	83.9%	83.9%
	2	公共交通	公共交通機関の年間利用者数	55,436千人/年	※ 54,708千人/年
	3	公共交通	日常的に公共交通機関を利用する住民の割合	47.5%	50.0%
	4	道路	渋滞時における自動車の平均旅行速度	23.1km/h	28.0km/h
	5	道路	インターチェンジの日平均出入交通量	490百台/日	520百台/日
	6	まちなか交通	中心市街地の通行量 (調査日(平日・日曜)2日間の合計)	695,892人	758,000人
	7	まちなか交通	自転車駐輪場における日当たり平均利用台数	5,250台/日	5,250台/日
	8	公共交通 まちなか交通	JR熊本駅の乗降客数	29,114人/日	33,114人/日
	9	公共交通 道路 まちなか交通	都市機能が充実して安全・快適と感じる住民の割合	47.2%	47.2%
	10	公共交通 道路 まちなか交通	死傷事故件数	4,578件/年	減少
防災の視点	11	公共交通	公共交通事業者によるBCPの策定又は既存BCPの強化の数	—	6事業者
	12	道路	九州主要都市間ダブルネット ワーク確保	・放射、環状道路 の整備延長	— 18.5km
	13	道路	緊急輸送道路の防災機能の強化	・無電柱化延長	— 8.0km
	14			・耐震化橋梁数	— 耐震化した橋の増加
	15	公共交通 まちなか交通	広域交通拠点の防災機能の強化箇所数	—	3箇所

※将来の人口動向による自然減を考慮した目標値

